



創造力

Create

菊池和晃

子どもの頃、もの作りの日本という言葉をよく耳にしていた。その言葉から伝統的な職人の手業を連想していたが、そうではなく、それは工作機械や消費者製品などのことを指していたようだ。どうやら戦後アメリカに習い得た、大量生産という力が今のこの国を形作る大きな要因の一つらしい。作ること。それ自体が一種の消費活動とも言える今、その行為が持つ力は一見個人由来の小さなものに見えるかもしれない。本当にそうなのだろうか。日々当然のように行使されるその力について、同じく「作る」という行為を以って考えたいと思う。 菊池和晃

KIKUCHI Kazuaki

1993年京都生まれ。京都市立芸術大学大学院修了。京都を拠点に美術家として活動。肉体を酷使することで稼働する自作の装置で美術史から引用したイメージを生産する。

ピカソの「ゲルニカ」を持ち出すまでもなく、作品と時代背景には強い関係があります。大量生産、大量消費、大量廃棄の20世紀を経て人間社会は豊かになった代わりに、21世紀の人間は環境汚染や気候変動による災害という負の遺産を背負うことになりました。菊池和晃は、過大な労力に見合わない仕事をする装置をつくり、それをを用いてパフォーマンスを行ってきました。それは、生産効率を上げて最大の成果を得るという20世紀型の価値観に対する菊池のアンチテーゼなのでしょう。第1コーナーに入った21世紀のいま、菊池は新たな境地を目指します。 +1art カワラギ

5/18 (水) - 6/04 (土)

PM 12 - 7 (最終日 ~ PM 5)

日・月・火曜 休廊

パフォーマンス

5/28(土) & 6/4(土)

両日 PM 1 時 ~

作品によるペインティング

+1art

542-0012 大阪市中央区谷町6-4-40
www.plus1art.jp TEL 06-7712-6685

